

7.25 武儀集中豪雨災害

◆照会先 危機管理課 ☎ 22-3131

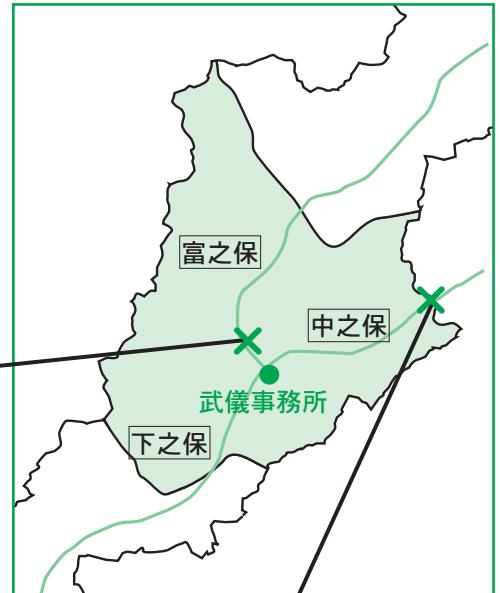
7月25日(土)午後2時30分ごろ、武儀地域を中心に1時間に110ミリという記録的な集中豪雨に見舞われ、富之保、中之保、下之保地区で床下浸水や道路の冠水、土砂崩れなどの被害が発生しました。また、県道関金山線の北条峠(加茂郡七宗町との境)と、県道美濃加茂和良線・中之保地内で土砂崩れが発生し、通行止めになりました。
(※現在は復旧し通行可能になりました。)



▲住宅への被害も多数発生



▲県道美濃加茂和良線・中之保



■武儀地域における被害状況 (7月30日午後5時現在)

	富之保	中之保	下之保	計
床下浸水家屋	12戸	7戸	3戸	22戸

<ul style="list-style-type: none"> 河川の護岸の崩落など 道路への土砂流出、崩壊など 山腹などの崩落など 林道の崩落など 	23カ所 8カ所 13カ所 102カ所	<ul style="list-style-type: none"> 農地、農業施設の破損 簡易水道施設の破損(復旧済み) その他(水田冠水、住宅の石積崩壊など) 	19カ所 2カ所 6カ所
---	------------------------------	--	--------------------



▲県道関金山線・北条峠

■雨量・水位・警報などの情報がインターネット・携帯電話で確認できます

関市防災情報

【インターネット】

<http://www3.city.seki.gifu.jp/bousai/>

【携帯サイト(au以外)】

<http://www3.city.seki.gifu.jp/i/>

【携帯サイト(au)】

<http://www3.city.seki.gifu.jp/e/>

川の防災情報

【インターネット】

<http://www.kasen.pref.gifu.jp>

【携帯サイト】

<http://www.kasen.pref.gifu.jp/h>

土砂災害警戒情報

【インターネット】

<http://alert.sabo.pref.gifu.lg.jp>

【携帯サイト】

<http://alert.sabo.pref.gifu.lg.jp/h>

■雨の強さと降り方の目安

1時間雨量(mm)	予報用語	降り方のイメージ	屋外の様子	災害発生状況
10～20	やや強い雨	ザーザーと降る	地面一面に水たまりができる	この程度でも長く続く時は注意が必要
20～30	強い雨	どしゃ降り		側溝や下水、小さな川があふれ、小規模ながけ崩れが発生
30～50	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る	道路が川のようになる	山・がけ崩れが起こりやすく避難の準備が必要となる
50～80	非常に激しい雨	滝のように降る	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	マンホールから水が噴出する。土石流など多くの災害が発生する
80～	猛烈な雨	息苦しいような圧迫感、恐怖感を感じる		雨による大規模災害の発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要

避難情報に注意を！

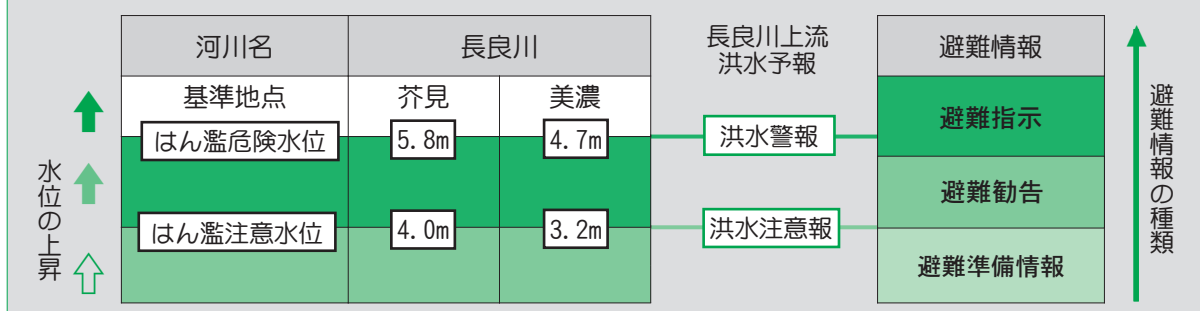
災害が発生したとき、何より大切なのが命を守ることです。自分の命や家族の命は自分たちで守るという心構えが最も重要です。

これから台風の季節となり、まだまだ災害の発生する恐れがあります。気象情報、避難情報などに十分注意するとともに、普段から自分の住んでいる地域の特徴や指定の避難場所、避難路を確認するなど、災害に備えましょう。

河川水位と避難情報

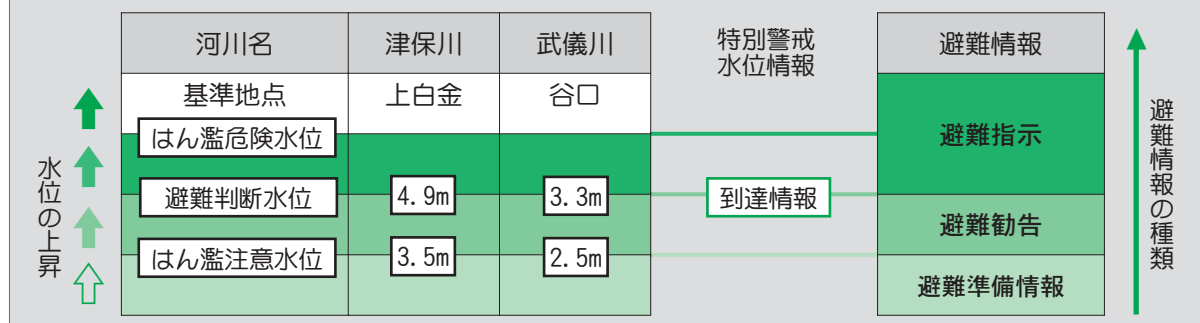
長良川

長良川は「洪水予報指定河川」に指定されています。基準地点の観測水位から、気象台と岐阜県が共同で「長良川上流洪水予報」を発表します。市からの情報に注意して、避難の準備を開始してください。



津保川・武儀川

津保川・武儀川は「水位情報周知河川」に指定されています。避難の目安となる「特別警戒水位」に達した場合、市や報道機関を通じて岐阜県から市民の皆さんに情報提供が行われます。市からの情報に注意して、避難の準備を開始してください。



市からの避難情報の内容

避難情報の種類	市からの呼びかけ	市民の皆さんが取るべき行動
避難準備情報	避難が必要となる可能性があります。避難の準備を進めてください。	土砂崩れや河川・用水の増水に注意しましょう。低地は浸水の恐れがあり、避難の準備を進めましょう。
避難勧告	堤防決壊やはん濫の恐れがあります。指定された避難場所への避難を始めてください。	指定された避難場所への避難を始めましょう。避難情報が伝わっていないこともありますので、近所で声を掛け合い、助け合って避難しましょう。
避難指示	堤防決壊やはん濫による重大災害発生の危険があります。ただちに、指定された避難場所へ避難してください。	ただちに指定された避難場所への避難を始めましょう。避難時は浸水や土砂災害に注意し、2人以上のグループで行動しましょう。

災害に備えましょう！

普段から自宅周辺の環境(山、河川、池、がけ、道路、水路など)を十分に確認しておき、大雨や台風の時、異変に気づいたり、少しでも危険を感じた時は、できるだけ早く避難を開始してください。
また、避難の際は隣近所に一声掛けて、近所どうし助け合って、避難をするようお願いいたします。

■避難の注意点

▶避難の呼びかけに注意を



危険が迫ったときには、テレビ、ラジオの気象情報や洪水予報、市役所からの避難情報に注意しましょう。広報車や屋外同報無線は、風雨の音で聞こえにくい場合がありますので、注意してください。聞こえにくい場合は、☎23-9940(同報無線確認ダイヤル)でご確認ください。

▶浸水後の避難は危険



浸水が始まらないうちに避難しましょう。動きやすい格好で、2人以上で行動をしましょう。浸水した道路では、マンホールに落ちたり、用水に流されたりすることがあり、危険がいっぱいです。

▶万が一、逃げ遅れたら



避難可能な水位は「ひざ下」までです。流れる水の中は水位が浅くても足がとられやすく危険です。万が一、逃げ遅れた時には丈夫な建物に逃げましょう。

▶早めの避難を



夜間、雨の中を歩ける距離は1時間で1.5～2キロが目安です。このため、お年寄りやお子さん、身体の不自由な方などのいる家庭では特に早めの避難が必要です。隣近所で助け合って避難しましょう。

▶土砂災害にも注意



山の近くの住宅では、土砂災害にも注意しましょう。避難のとき、山沿いや川沿いの道路を歩かなければならない場合も注意しましょう。

▶車での避難は控えて



車での避難は交通渋滞を招いたり、道路冠水や土砂崩れなどで動けなくなったりして、緊急車両の通行の妨げにもなります。原則として、徒歩で避難しましょう。

関市洪水ハザードマップ・防災のてびきをご覧ください



長長川流域



津保川・関川・吉田川流域



武儀川流域



防災のてびき

災害への備えや詳細が掲載してある「関市洪水ハザードマップ」「防災のてびき」をぜひご覧ください。(※洪水ハザードマップは浸水想定対象地域の各世帯、防災のてびきは全世帯に配布してあります)そして、この機会に家族で防災について話し合ってください。

◆洪水ハザードマップ 土木課 ☎23-7336

◆防災のてびき 危機管理課 ☎23-7736